

町 長	副町長	院長	副院長	事務長	事務次長	合 議

別記様式第4号

病院運営審議会 報告書			
会議区分	会 議 ・ 打 合 せ ・ 協 議	文 書 番 号	
		決 裁 期 日	
名 称	平成21年度 第2回 上富良野町立病院 運営審議会		
日 時	平成22年3月3日(水) 午後6時00分から午後7時30分まで		
場 所	役場審議室		
出席者	町長、委員長他4名(全員)、事務長、事務次長、長岡主査、長谷川主任		
内 容	町長、北川委員長挨拶のあと、審議した。		
	1 平成21年度病院事業会計収支決算見込みについて		
	<ul style="list-style-type: none"> 21年度は、当期純利益を10,054千円で見込んでいる。 老人保健施設会計の収支が均衡しているのは、収入に見合った支出をしているためである。 21年度についても、経営状況としては改善していると認識できる。 		
	2 平成22年度病院事業会計予算について		
	<ul style="list-style-type: none"> 町からの繰入金が226,812千円であるが、そのうちの国からの交付税はいくらか (ほぼ、50%である) 給与費が著しく伸びているが理由は (3年に一度の退職手当組合の負担金である。) 報酬の伸びについては (常勤医の勤務軽減のため、医大の役職付き医師の派遣増(診察や当直)に伴う報酬を増額した。) 		

- ・ 町立病院でのジェネリックの利用状況は？

(外来は95%が応需薬局でジェネリックの利用頻度が高くなっている。

老健の一部には利用している。

一般病床の、ジェネリック利用については、仕入れ価格も安い売り上げも低いため病院の利益につながらない。また、正規物とジェネリックの薬を利用することで、院内で利用する薬が増えることにより安全管理が難しくなる。)

- ・ 医療器械の計画的購入について

(年1千万円で整備更新しているが、CTのような高額な機械購入についても、年次計画で進めている。)

3 病院改革プランの進捗状況について

新規委員に「上富良野町立病院改革プラン」を説明後、上川管内の公立病院の経営状況と、繰入金等について説明し、別紙の「病院改革プラン進捗状況を説明した。

- ・ 17年度からの数値の推移が改善しており、今後も、一層の経営努力をされたい。